



きょうのきゅうしよく

# かじきのステーキ

かじきとは、<sup>かんじ</sup>漢字で『<sup>かじき</sup>梶木』または『<sup>かじき</sup>加敷』とも書かれ、

もともとは<sup>ふなそこざい</sup>船底材の<sup>りょうがわ</sup>両側に取り付ける<sup>たないた</sup>棚板のことで

ヤリのように、<sup>なが</sup>とがった<sup>うわ</sup>長い上あごで、この<sup>いた</sup>板を<sup>つ</sup>突き<sup>やぶ</sup>破ることが  
ときどきあったため【カジキ】とよばれるようになりました。

